

アートの拠点を巡るレンタサイクル「チャリ de アート」の試作・運用社会実験事業

指導教員：金沢美術工芸大学美術工芸学部環境デザイン専攻 教授 坂本英之

金沢大学地域マネジメントコース 教授 水野雅男

参加学生：北口貴是・大畠拓也・岩切翔成・遠藤友莉奈・平松麻里乃・本間愛子（以上金沢美術工芸大学）
眞杉篤司・劉浩・加藤充志・森本明日美（以上金沢大学）

1. 調査研究成果要約（200文字以内）

春の社会実験結果を踏まえて、レンタサイクルの自転車のデザインと試作車の制作、web上のホームページによるプロジェクトの告知、貸出拠点の選定と運用マニュアルの作成を行った上で、秋の社会実験を実施した。さらに、今回の社会実験から得られた課題を解決するために、先進事例視察調査結果を参考としながら、貸出拠点の再配置とガイドツアーモデルルートの選定・試乗会まで行い、次年度の社会実験の準備が整った。

2. 調査研究の目的

金沢市内のアートスポットを巡るのに適したレンタサイクルのデザインと運用システムのあり方を模索するために、社会実験を行うものである。

3. 調査研究の内容

調査対象：金沢 21 世紀美術館を目指して訪れる来訪客

- 1) 社会実験の企画準備 6～9 月 運営課題の検討、貸出拠点の選定と駐輪場確保、運営マニュアル等
- 2) チャリデザイン検討 6～8 月 デザイン改良に対する提案
- 3) 秋の社会実験 10～11 月 2つの方法（予約式・長期間、随時式・短期間）で社会実験、
- 4) 先進事例視察研修 10～11 月 京都でのレンタサイクル・ガイドツアー会社でのヒアリング調査
- 5) 翌春に向けた企画 12 月 貸出拠点の拡張依頼、ガイドツアーモデルコースの選定・試乗会

4. 調査研究の成果

デザインされた自転車に乗って街なか回遊する需要が小さくないこと、店舗等での貸出は運営上の負担が小さいため通年実施できること、路地裏などの独自の魅力を体験できるガイドツアーの実行可能性も検証できたことが成果として得られた。同時に、GPS ロガーの貸出やアート情報の提供（あるいはコンシェルジュ）により、既存のレンタサイクルと差別化してシステムの魅力度を向上し利用需要を高められること、貸出拠点の拡張や協力店への働きかけにより告知を徹底することが、今後の課題として把握できた。

5. 調査研究に基づく提言

金沢 21 世紀美術館を核として街なかに点在しているアートスポットの魅力を発信することで「創造都市金沢」の実現を支援できるとともに、レンタサイクルを都市交通の重要な公共交通の一つと位置づけることが都市政策上大切である。

6. 調査研究の自己評価

産（企業）学（大学）民（NPO）連携で、戦略的、継続的な政策研究の一翼を担うことができた。

1) 秋の社会実験の企画準備 6～9月

5月の連休に行った社会実験は、以下のとおりであり、83名の利用があった。

◇ 日時：5月1日～5日 10時～17時

◇ 拠点：金沢21世紀美術館、県立音楽堂、アートグミ、KAPO

利用者へのアンケート調査結果を学生たちが集計分析し、社会実験運営上の課題を話し合った。

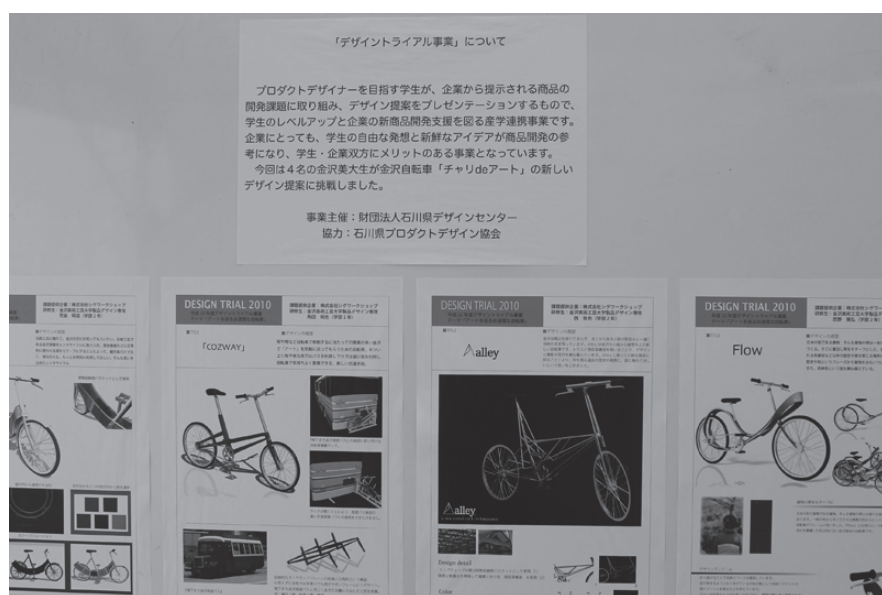
社会実験から本格運用に移行することまで想定すると、貸出拠点は店舗などに設置することで現実味が帯びてくること、アート志向の利用者を狙う上では金沢21世紀美術館近くが望ましいこと。それらの検討結果を踏まえ、柿木畠入口の「つぼみ」に秋の社会実験を依頼することにし、運営マニュアルの策定、駐輪スペースの確保、アンケート調査の改訂などを学生たちが担当した。



■ 春の社会実験での貸出拠点（県立音楽堂）参加者がアンケート調査を記入

2) チャリのデザイン検討 6～8月

金沢美大学生チームがアートに相応しいデザインを検討し、4つの案を提案した。彼らのデザイン提案は、新しく制作する自転車に若干反映された。またデザイン提案書は、秋の社会実験ブースで展示した。



■ デザイン提案のパネル展示（秋の社会実験ブースにて）

3) 秋の社会実験 10～11月

社会実験は、以下の2つの会場と方法を用いることとした。

①金沢 21 世紀美術館

10月9～11日（開館6周年パーティ期間） 当日受付（受付貸出業務を学生チームが担当）
活動のこと、自転車そのものの展示や告知も兼ねている。

②和スイーツ「つぼみ」（柿木畠入口）

10月1日～11月30日 事前予約を基本とした
店主や店員の方に受付貸出業務を依頼し、定休日以外毎日（11時～19時）実施した。
店舗から数メートル離れた駐車場（うつのみや所有）を2ヶ月間借用し、駐輪スペースを確保した。



■金沢 21 世紀美術館ブース設営後の受付貸出



■民間駐車場を2ヶ月間借用し、レンタサイクルを配置、社会実験と受付場所（つぼみ）の告知ボード設置

社会実験期間中は悪天候に見舞われたため、想定していたような利用実績を得ることができなかった。天候以外にも、ホームページでの告知が効果を発揮できなかったこと、さらには市が実施した類似のレンタサイクル社会実験と期間が重なったことも大きな原因と考えられる。

今後は、市の社会実験や既存のレンタサイクル事業との棲み分けと連携方策について検討を行っていくことが課題として挙げられる。

チャリ de アート運営マニュアル つぼみターミナル版

1. 貸出

- ・雨天は中止する（予約済みの方でも安全性の面から了解を得る）
- ・社会実験であること、レンタル条件を確認する（HP で認識済み）
- ・ロングスカートの方は断る（安全性の観点から）
- ・借用同意書に「氏名、住所、携帯電話番号、メールアドレス」を記入してもらう
- ・携帯電話の確認呼び出し（ワン切り）
- ・社会実験協力金 500 円を受け取る
- ・GPS ロガーでの走行軌跡データ採集の協力を求める
- ・アートイベントのリーフレット等とマップを手渡す
- ・必要ならば、足首バンドを貸し出す
- ・手荷物は美術館のコインロッカー利用を促す

2. 返却

- ・返却車番を確認する
- ・アンケート調査を手渡し協力してもらう

3. 保管その他

- ・賃借している駐車場に停め、夜間はチェーンとシートで盗難防止する
- ・パンク車両が届いたら、modelT（109 裏）で修理をお願いする

No.	月日	時刻	時間数	性別	年齢	住所
1	10月15日	15:30-18:30	3	男	43	東京
2		15:30-18:30	3	男	28	神奈川
3		11:00-17:00	6	女	28	香港
4	10月16日	14:00-18:15	4	男	20	金沢
5		14:00-18:15	4	女	22	金沢
6		10:50-12:00	1	男	56	金沢
7		11:00-16:00	5	男	61	京都
8		11:00-16:10	5	女	48	大阪
9		11:00-16:10	5	男	60	大阪
10	10月17日	14:00-18:30	5	男	37	金沢
11	10月23日	16:30-19:00	3	男	49	名古屋
12	10月24日	10:10-12:50	3	女	39	東京
13		10:00-12:50	3	女	37	栃木
14		11:00-17:00	6	男	27	金沢
15		11:00-17:00	6	男	26	白山
16	11月6日	12:30-16:30	4	女	27	岩手
17		12:30-16:30	4	女	30	金沢
18	11月6日7日	16:00-14:00	6	女	38	神奈川
19	11月6日7日	16:00-14:00	6	女	68	神奈川
20	11月7日	10:30-13:40	3	男	52	埼玉
21	11月8日	11:00-17:00	6	女		USA
22		11:00-17:00	6	女		USA
23	11月11日	11:40-15:20	4	女	39	富山
24	11月21日	11:45-17:40	6	男	35	千葉
25		11:45-17:40	6	女	35	京都
26		15:00-17:20	2	男	31	白山
27		15:00-17:20	2	女	29	河北
28	11月23日	13:30-14:00	1	女	26	富山
29		13:30-14:00	1	男	28	富山

■学生たちがとりまとめた運営マニュアル

■つぼみでのレンタル実績一覧

case8-2 2010_11/07(日) 9:26-17:01 晴 20.2℃

I-O DATA



■GPS ロガーによる利用者の走行軌跡データ

4) 京都の先進事例視察研修 10～11月

市街地のレンタサイクルシステムの先進事例として、京都で最大規模の民間レンタサイクル事業を展開している「京都サイクリングツアープロジェクト (KCTP)」の視察研修を2回に分けて実施した。

①講演会聴講

経営者多賀一雄氏 (KCTP 代表) が手掛けてきたレンタルシステムの概要とビジネス展開のポイントを学んだ。(金沢美大坂本, 金沢大学劉君)

2001年6月設立, スタッフ20名

レンタサイクル事業の他, サイクリングツアー, 自転車販売, 自転車関連雑貨販売

②ガイドツアー体験

ガイドが2名で先導案内するツアーのシステムとポイントを学ぶために、「京都ろじ裏散歩コース」に参加 (金沢大学水野, 眞杉君, 劉君)

安全確保上の留意点, コースの魅力を高めるルート選定やガイドするポイントなどを考察し, 金沢で応用すべき点を話し合った。



■通訳業の資格を持つ2人の女性が先頭と最後方を走りながら, 要所で手作りの説明ボードで観光案内

5) 秋の実験結果を踏まえて、翌春に向けた企画 12月

①ターミナルの選定・協力依頼

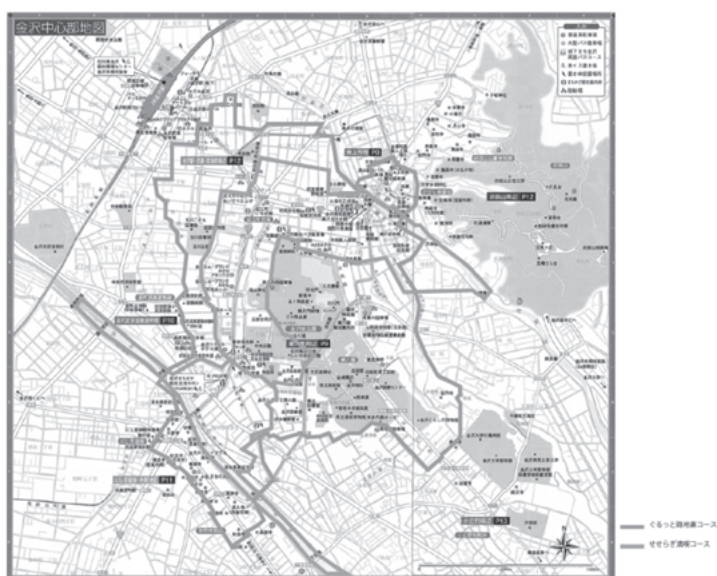
翌春の社会実験では、街なかにターミナルを点在させることが必要であるとの判断から、協力依頼文書を作成し、宿泊施設やアートギャラリーなどを中心に学生たちと NPO メンバーが協力店探しを行った。結果として、由屋るる犀々（清川町）、キャッスルイン金沢（此花町）、KAPO（小将町）、ギャラリー棕（東山2丁目）、しら井（東山3丁目）、つぼみ（柿木畠）の6カ所をターミナルとして確保した。

②ガイドツアールートの検討と試乗会

京都のガイドツアーを参考として、金沢でも入り組んだ路地裏などを楽しめるガイドツアーを実施すべく、ふだん自転車に乗っている学生がモデルルートを検討し、NPO メンバーと一緒に12月に試乗して、その安全性と魅力度を確認した。



■ ガイドツアールートとターミナル協力店の検討会議，試乗会とゲストハウス等への協力要請



■ 学生提案のガイドツアーモデルルート